

## 6.21 与論町海洋教育魅力化シンポジウム

2019年に発足し、5年目を迎えた与論町海洋教育推進協議会。その新たな試みとして『与論町海洋教育魅力化シンポジウム』を開催しました。

今回の目的は、島民の方々への海洋教育の取り組みを周知し、新しい教育の在り方について共に考えること。

登壇者に、リクルートEd-tech総研所長の山下真司氏、与論高校にて教育改革進めている甲斐修校長先生を迎え、山下氏は『これからの社会を生きる子どもたちに、何が求められるか？』、甲斐校長先生には『与論高校の挑戦-受験学力を超える“島を育てる学力”を育成する-』をテーマにお話を頂きました。



会終盤には、与論町海洋教育推進協議会の池田剛会長と町岡教育長も加わり、『与論町において今後必要な「教育×地域」の在り方』について、短い時間の中でそれぞれの意見を共有し、与論の教育の未来について考える有意義な時間となりました。

ゲストティーチャーとしてお招きした山下さんは、「さまざまな人が参集されたシンポジウムは、教育改革への高い関心を抱くと同時に、与論の子どもたちがこれからの社会を生き抜いてほしいという願いの現れだったように思われます。子どもたちの姿には、未来の与論が映し出されます。子どもたちにわくわく感や憧れを伝えられるのは本気の大人の姿しかありません。チーム与論として一人一人当事者意識をもって、子どもたちに向き合ってほしい」と、与論への希望と願いを込めたお言葉を頂きました。